

令和5年度 2学年 SL (Self-Learning) 後期探究成果発表会

○ 令和6年2月8日(木)、2学年生徒がSL (Self-Learning) の後期探究成果発表会を行いました。本年度前期は、修学旅行の行先である「沖縄」から研究課題の具体的着想を得て、グループで探究活動を行いました。Google Siteを用いてグループ毎のホームページを作成し、探究成果をまとめています。

<前期の研究課題例>

- ▶ 首里城の焼失と復元について
- ▶ 米軍の維持による沖縄への経済効果
- ▶ 美ら海水族館の水槽に使われている科学
- ▶ ひめゆり学徒隊で起こった事実と彼女達の心理

○ 後期は、前期の研究成果を基に、生徒個人の興味関心や進路希望に応じた調査研究に取り組みました。調査内容は前期と同様にホームページにまとめています。班で研究成果をお互いに見せ合いながら、情報交換や意見交流をおこないました。その後、各班の代表者が登壇して発表しました。

<後期の研究課題例>

▶ 絶滅危惧種とメディア



海外の絶滅危惧種に対する取り組み

世界には日本にはない絶滅危惧種が正数から減っている国がある。日本が取り返さなければなりません。



ニュージーランドの取り組み

ニュージーランドでは、キウイの絶滅を防ぐために、鳥獣の侵入を防ぐために、島を無人島にするという取り組みを行っています。この取り組みは、絶滅危惧種に対する取り組みの一つとして注目されています。

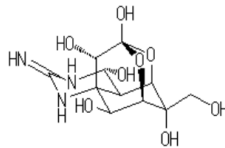


EUの取り組み

EUでは自然保護政策を推進しており、絶滅危惧種(Blue Bird)と家畜保護(Blue Bird)の取り組みを行っています。

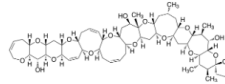
▶ 様々な生物毒と活用方法

様々な生物毒



テトロドトキシン

フグ毒の成分。ある種のカエルやタコにも存在している。化学式はC11H17N3O8



シガトキシン

シガタラ毒の成分。

化学式はC60H86O19

▶ 芸術における花の存在

大和絵

続いて、大和絵でとりあげられる伝統作品は「源氏物語絵巻」です。

「源氏物語絵巻」は「源氏物語」の成立から約100年後の12世紀初頭に完成した現存最古の絵巻です。

そもそも大和絵とは、絵巻の巻の展開や人物を題材にした絵巻に由来し、その展開に沿って描かれていくスタイルです。

大和絵の作風は、線画のみに留まらず、写実的な表現も取り入れられています。

巻物は「源氏物語」54帖の巻物より1巻を縮小し、その物語本文を巻物とした絵巻を書くのが一般的です。巻物と縮小した巻物から成り立っています。

巻物より縮小された絵巻であったと推定されますが、現在は4巻が現存しています。

本巻のほとんどが現物が残っているのですが、複製したように絵巻と絵が対応することから、どちらにも現物は残存しています。

1つ巻物の源氏物語絵巻本(三)を撮影しましょう。

▶ 環境問題が続く限り戦争は終わらないのか

調べていく中で、環境問題が戦争を引き起こしているだけでなく、戦争が環境問題を引き起こしていることに世間の注目が集まっていることに気づいた。そこで、2つに話題を分けたい。

『環境が引き起こす戦争』と『戦争が引き起こす環境』



環境が引き起こす戦争



戦争が引き起こす環境

○ 独創的な研究も数多くあり、生徒はお互いの研究発表を興味深く聞いている様子でした。多くの生徒が、探究的・教科横断的な学びの面白さに気付くことができたようです。来年度は、さらに研究を深めていきます。